

ユナイテッド奈良あやめ池動物病院 中井 純司



半導体レーザー治療に関して

①導入時期：2010年2月(DVL-15),2012年5月(CTS-S)

②よく使用する臨床内容と医学的評価、オーナー評価

DVL-15

あらゆる腫瘍摘出術及びその他臓器の切開並びに摘出手術。

微小血管の焼烙止血、血管のシーリング止血が速く確実にできる。

結紮による止血とシーリングによる止血を併用することにより術後の止血不良の不安が全くなくなります。

また術後の疼痛の減少が速やかで、回復が速くなります。

CTS

老齢動物の関節痛、術後の疼痛緩和、椎間板ヘルニアグレード1～2

NSAIDs、ステロイド、漢方との組み合わせで外科的治療をあまり望まれない飼い主様、あるいは高齢で全身麻酔のリスクの高い動物での治療の選択が広がります。

また消炎鎮痛薬の使用量を減らすことも可能となりました。

③使用頻度：

DVL-15 週2～3例

CTS 週8～10例

④印象的な症例

DVL-15

ウサギよりも小さいエキゾチックアニマルの手術では、電気メスと異なり対極版も必要なく非常に使いやすい。

CTS

最近が高齢動物の関節痛の疼痛管理での使用頻度が増えており、消炎鎮痛薬では副作用が気になる症例で薬剤の使用量を減らすことにもつながっています。

⑤採算に関して

機材の導入時の初期費用はかなりかかりますが、手術時間の短縮ができ、また術後の回復が速くなり、薬剤の使用量も減らせるので結果的に飼い主さまの信頼獲得につながっています。

⑥今後のテーマ

⑦他のユーザーへのコメント

CTSは動物看護師にも楽に扱えて、またオーナーさんの前で使用する時もどのような治療が行われているのか理解してもらいやすいです。

病院及び Dr 紹介

病院概要 : ユナイテッド奈良あやめ池動物病院

奈良県奈良市、1997年開業

獣医師: 中井純司院長、大阪府立大学卒業

設備概要 : X線 エコー 血液検査 消化管内視鏡 等

外科用器機 半導体レーザー (DVL-15、CTS-S)

ユーザー紹介

あやめ池動物病院 中井 純司

病院概要：住所 奈良県奈良市疋田町2-1-19-1

電話 0742-51-1444

開業 1997年

特色 小規模ですが地域のホームドクターとして、特に老齢動物の健康管理に重点をおいた診療を行っています。

獣医師紹介：院長 中井 純司 昭和43年生まれ

大阪府立大学卒

設備概要：X線 エコー 血液検査 消化管内視鏡 等

外科用器機 半導体レーザー (DVL-15、CTS-S)

レーザー治療に関して

① 導入時期：2010年2月 (DVL-15), 2012年5月 (CTS-S)

② よく使用する臨床内容と医学的評価、オーナー評価

・あらゆる腫瘍摘出術。止血が速く確実 出血が少ないので術後の回復が速い

・体表腫瘍の局所麻酔下での切除、蒸散。特に老齢動物のオーナーさんには好評

・疼痛管理 (CTS) 関節痛 術部 椎間板ヘルニアグレード 1、2
(西洋薬、漢方との組み合わせで治療の幅が広がる)

③ 使用頻度：手術関連 週 2-3 例

疼痛管理 (CTS) 週8-10例

④ 印象的な症例

・オウムの自咬傷 (CTS)

長年の翼の傷が縮小、オーナーにも好評

・ウサギの避妊手術

ウサギは術後にストレスと疼痛のため食欲低下がおきやすいが、止血と組織の切断に

レーザーを使用してから術後の回復が速やかに。

・肛門周囲腺癌

止血が速く確実に出来、術後の腫脹も最小限に

⑤ 今後のテーマ



近年は高齢化が顕著に進み、完治が困難な腫瘍性疾患や慢性炎症性疾患が確実に増加しているのでこれらにさらに幅広く活用していきたい。

⑥ 他のユーザーへのコメント

COMPANION THERAPY LASER SYSTEM(CTS)は看護師にも楽に扱えて、またオーナーさん

の前で使用する時もどのような治療が行われているのか理解してもらいやすい。